

## マスバランス方式によるバイオマス PP「Prasus<sup>®</sup>」 スパウトパウチ用キャップに採用

株式会社プライムポリマー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉住 文男）が製造販売するマスバランス方式のバイオマス PP（ポリプロピレン）「Prasus<sup>®</sup>」がカウパック株式会社（本社：愛知県岩倉市、代表取締役：柴田 博幸）が販売するスパウトパウチ対応のキャップに採用されました。



カウパックでは、オリジナル環境マークとして『Mirai Earth』を作成し、スパウトパウチ容器の各部にバイオマス素材やリサイクル素材など環境負荷軽減素材を用いた地球に優しい製品（DS 規格シリーズなど）を製造販売しています。

このたび、石油由来樹脂と同等の成形性と安全性を担保しながら、石油資源の使用や製造過程におけるCO<sub>2</sub>排出を削減できる「Prasus<sup>®</sup>」の採用により、スパウトパウチ用キャップのバイオ化が実現しました。これにより、カウパックではスパウトパウチ容器全体を環境負荷の少ない素材で提供できるようになりました。

スパウトパウチは、洗剤などの詰め替え用製品や飲料製品など幅広い用途で利用され、必要量に応じた使用や保管、持ち運びなどが可能であるため、生活用品や食品など多岐にわたった製品での採用が増えています。

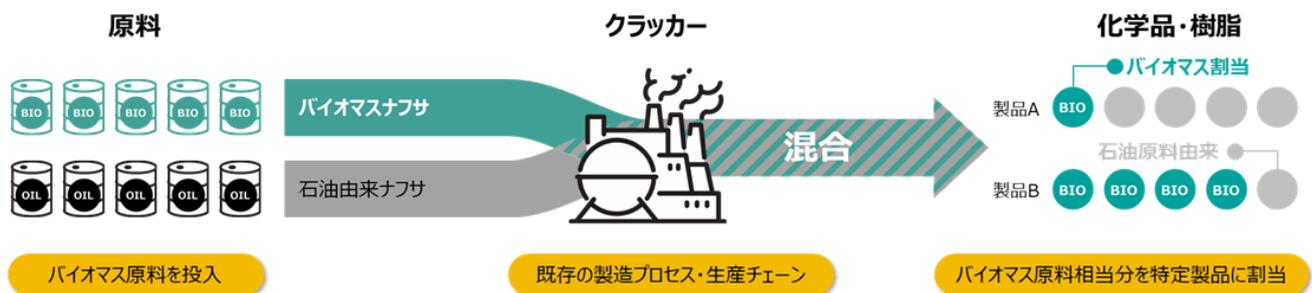


プライムポリマーは循環型経済の実現に向け、「Prasus<sup>®</sup>」の製造と販売を通じてバイオマスプラスチックによる、製品ライフサイクル全体における環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現に今後も寄与してまいります。

## ■ マスバランス方式（物質収支方式）とは

「原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：バイオマス由来原料）がそうでない原料（例：石油由来原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法」（環境省バイオプラスチック導入ロードマップ）を言います。

石油由来のプラスチック・化学品と物性が全く変わらないこと、これまで難しかった素材でもバイオマス化が可能となるなど、カーボンニュートラル社会の実現に向けて社会全体のバイオマス度を向上させるための重要なアプローチです。三井化学グループでは、既に約 40 を超える製品群でマスバランス方式によるバイオマス化を実現しています（2025 年 6 月現在）。また、サーキュラーエコミーにむけたリサイクルソリューションとして展開されていくケミカルリサイクルにおいても、マスバランスは重要な役割を果たします。



## ■ Prusus<sup>®</sup>



株式会社プライムポリマーが展開する、新しいフィードストックを使用したマスバランス方式による環境にやさしい持続可能な製品（ポリエチレン、ポリプロピレン）のブランド名

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社プライムポリマー 企画管理部

<https://www.primepolymer.co.jp/form/jp/inquiry/form01.php>